

発行
2023年9月
No.38

日本プライマリ・ケア連合学会 北海道ブロック支部 ニュースレター

発行人
支部長 木佐 健悟

北海道ブロック支部事務局
(市立美唄病院内)
TEL:0126-63-4171
mail:hpca.jimukyoku@gmail.com

北海道ブロック支部広報委員会

編集前記

編集を担当しました、JA 北海道厚生連 倶知安厚生病院総合診療科の濱本です。

COVID-19 が 5 類感染症となり、今年の夏はいつも以上に観光客が多かった印象を受けました。統計開始以来の暑さを記録した夏も終わったかと思えば、日に日に冬の足音が聞こえてきているのを感じます。冬は倶知安町のあるニセコエリアにとってにぎやかで、我々にとっては忙しくなる季節でもあります。

倶知安厚生病院総合診療科では、外来、病棟のみならず 2 次（時々 3 次）救急、訪問診療、健診、透析、外国人診療など幅広く経験できます。医師は初期後期研修のみならず、中堅、ベテランの先生方も活躍中です。看護師、薬剤師、リハビリスタッフ、事務職員、看護助手なども募集しています。病院見学は随時受け付けています。もし興味を持ってくださる方がいらっしゃれば、ご連絡をお待ちしております。



第 10 回 プライマリ・ケア連合学会 北海道支部地方会が開催されました

2023 年 11 月 18 日(土)に第 10 回北海道プライマリ・ケアフォーラムならびに日本プライマリ・ケア連合学会 北海道ブロック支部第 8 回学術集会（兼）第 103 回北海道医学大会プライマリ・ケア分科会が現地開催（「かでる 2・7」）されます。新型コロナウイルス感染症の流行以降はオンラインでの開催を行っていましたが、今年は 4 年ぶりに現地開催を行うことが決まりました。職種・職歴を問わずプライマリ・ケアについて学びを深めることができる機会となっております。

基調講演では北海道において家庭医療の草分け的存在である檜戸 健次郎 先生にご登壇頂き「家庭医に未来はあるか？」というテーマでご講演頂きます。

また、今年は本フォーラムが第 10 回の節目となる開催を記念して『特別講演』と称し、砂川市立病院 副院長・教育研修センター長 木村 眞司 先生と医療法人 北海道家庭医療学センター 理事 兼 社会福祉法人 北海道社会事業

協会帯広病院 総合診療科 部長 堀 哲也 先生にご登壇いただき、これまでの 10 年の歩みを振り返り、これからのプライマリ・ケアの展望を語る企画も予定しています。その他の企画でも北海道の各地で活躍されている講師の方々をお招きし、プライマリ・ケアについて楽しく深く学べるセッションが盛りだくさんです。そして、今年は例年と異なり参加費が無料となっておりますので、学生さんから経験豊富な方々まで、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

詳細はトピック③をご参照ください！



トピック① 支部会員リレーコラム

今回は、札幌にあるまいホームケアクリニックで、認知症、神経難病、がん末期の方など様々な疾患の方の外来診療、訪問診療に携わっている竹内悠仁先生です！

トピック② 第 10 回北海道地方会 開催報告！

6 月 24 日（土）にかでる 2・7 において、4 年ぶりに現地で開催いたしました。参加者総数は 113 名で、医師 61 名、薬剤師 19 名、理学療法士・作業療法士 3 名、看護師・保健師 13 名、学生 1 名、事務職 7 名、その他 9 名と、当学会らしく幅広い職種の方に参加いただきました。

トピック③ 第 10 回北海道プライマリ・ ケアフォーラム詳細情報！

第 10 回北海道プライマリ・ケアフォーラム（兼 第 103 回北海道医学大会プライマリ・ケア分科会）が、2023 年 11 月 18 日（土）に札幌かでる 2・7 で現地開催します。ぜひご参加ください！



羊蹄山

トピック①

支部会員リレーコラム

竹内 悠仁（医療法人青葉 いまいホームケアクリニック）



いまいホームケアクリニックの医師の竹内悠仁です。5年間お世話になった倶知安厚生病院を離れ、今年の4月からいまいホームケアクリニックに勤務しています！

今、大人になって、誰のために働くかを考える上で、まず自分の役割を意識する必要があります。「職業において」と前置きをするのであれば、私の今の役割は、医師として目の前の患者さんに最善を尽くすことです。人の生死に関わるためミスは許されず、余命宣告をしなければならない場面も多く、本当に責任の重い仕事だと日々痛感します。私の役割を「家庭において」と前置きするのであれば、父親として家族を守ることです。

いまいホームケアクリニックの医師の竹内悠仁です。5年間お世話になった倶知安厚生病院を離れ、今年の4月からいまいホームケアクリニックで訪問診療、外来診療をしています。複数医師体制のクリニックで、認知症、神経難病、がん末期の方など様々な疾患の方を診療しています。尊敬できる優しい先輩医師に囲まれ、楽しく仕事に励んでおります。

さて、新しい職場にも少しずつ慣れてきた7月の帰り道、連日の猛暑による疲れもあったのかかもしれません。ふと空を見上げた時、「自分は、誰のために働いているのだろうか？」

そんな、沼にハマっていきそうな疑問を感じてしまったのです。この文章を読んでくださっている皆さんは、この問いに即答できますか？

自分のため、家族のため、患者さんのため、地域のため、社会のため、未来の子供たちのため、日本の医療のためなど、答えは人それぞれだと思います。答えを一つに絞ることは難しいのではないのでしょうか。

ここで、私自身の話をさせていただくことをお許しください。私の父は、私が幼い頃から長期の単身赴任をしていて、めったに家にはいない人でした。そんな父が年に数回家に帰ってきたときにキャッチボールしてくれるのが嬉しかったです。その時によく言っていた言葉があります。「人間にはみんな役割がある。それは、誰も教えてくれない。人生の中で、その役割を自分で見つけるのだ。』と。子供の頃の私は、「えー？自分で探すの？むりだよー。だれか教えてよー。」状態でした。当時は、自分の役割なんて全く思いつかなかったのです。

「誰がために働く」

- 竹内 悠仁 -

なんて格好良いことを書きましたが、日々の育児・家事に追われて何も立派なことではできていません。育児は思い通りにいかないことばかりですが、子供達が元気に笑ってくれていたらもうそれで十分だと思うようにしています。少し別の視点で、私の役割を「クリニックにおいて」と前置きするのであれば、総合診療医としてバランスの取れた動き方ができる一職員であることだと思います。

総合診療医は複数の疾患・社会的・心理的背景を持つ患者さんを総合的にみることを得意とします。自分の仕事だけをするのではなく、クリニック全体の動向を総合的に見て、不在医がいればそのサポートにまわる、忙しい部門があれば自分にできることを探す、私の患者への接し方全てがクリニック全体の評価につながることを忘れないこと、評価をあげることで自分の家族だけでなく職員の家族も守ることにつながる。クリニックには、そのような私の役割を気づかせてくれた、すてきな上司の先生達がいいます。

誰のために働くのか。私の答えはまだ出ていませんが、役割というのは時・場面と共に移り変わり、日々変化していきます。自分の役割を意識することで、自分の存在の意味が感じられ、それは生きるためのモチベーションになります。父は私に、生きるすべを教えてくれたのだと、今なら少しだけわかるような気がします。

トピック②

第10回プライマリ・ケア連合学会 北海道支部地方会 開催報告！

第10回北海道ブロック支部地方会の実行委員長を務めさせていただきました、北海道立羽幌病院の佐々尾航です。去る6月24日(土)にかでる2・7において、2019年以來4年ぶりに現地で開催し、無事盛会のうちに終了いたしました。休日にもかかわらず御参加いただいた皆様ありがとうございました。参加者総数は113名で、医師61名、薬剤師19名、理学療法士・作業療法士3名、看護師・保健師13名、学生1名、事務職7名、その他9名と、当学会らしく幅広い職種の方に参加いただきました。



アンケート結果を見ますと、参加いただいた全ての皆様から及第点をいただき、90%以上の方が大変満足または満足との結果をいただきました。今回はテーマとして「持続可能な地域医療をめざして～コロナ禍を経て、いま考える～」と題して開催しました。昨年10月より開催に向けて実行委員会を立ち上げ、テーマに沿った企画・基調講演を用意させていただきました。

寿都町の事例を御紹介したパネルディスカッションでは、寿都町の片岡町長をはじめ、寿都町の医療のキーパーソンに御登壇いただき、どのように寿都町の医療を時代に合わせ作り上げてきたかお話をいただきました。行政・医療それぞれの立場で、どのように考え、どのように動いたか、よく見える企画でした。

神経難病の緩和ケアは多系統萎縮症の事例を用いてワークショップを行いました。疾患は同じでも経過が異なることがあるなどの難しさも理解でき、医師・理学療法士・作業療法士・看護師など多職種で話し合う場面も多くありました。

臨床研究のはじめの一步を知るシンポジウムでは、臨床研究の進め方の基本を解説いただきました。ハードルが高いと感じがちではありますが、臨床でのちょっとした疑問をどう臨床研究につなげるか、少し理解が進んだでしょうか。

カフェ企画は、コーヒーをいただきながら、道内各地での地域活動・を知る企画になりました。社会的処方MAP、コミュニティーナース、地域サロン、読書会、暮らしの保健室など、多様な取り組みを御紹介いただきました。医療者が地域に飛び出していくきっかけになればと思います。



福井大学医学部地域プライマリケア講座教授の井階友貴先生の基調講演は、笑いの絶えないもので、ほぼ医療の話のない斬新なものだったかと思います。また、特別ゲストとして「赤ふんぼうや」にもご来場いただき会場を盛り上げていただきました。本人自身が活動を楽しめることが、地域活動に必要なことだと感じます。アンケートを見ましても、どの企画でも参加者に得るものがあり、今後の各地での地域医療の実践に役立つエッセンスをお持ち帰りいただけたのではないかと感じられます。

御参加いただけなかった方は、ぜひ次回の地方会に足をお運びいただければと思います。その次回第11回地方会は、2024年6月29日(土)にかでる2・7で開催します。市立旭川病院の鈴木聡先生が実行委員長を務めます。どうぞよろしくお願いいたします。



次年度の代議員選出選挙の立候補受付が始まります！

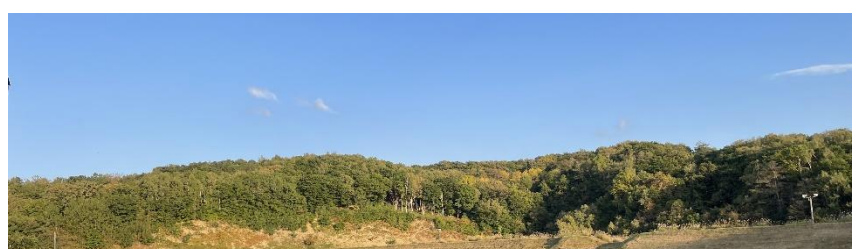


プライマリ・ケア連合学会北海道ブロック支部長の木佐健悟です。

9月2日(土)から3日(日)まで赤平市の皆様のご協力のもと、プライマリ・ケアキャンプ@赤平が開催されました。これは旧住友赤平炭鉱を見学したときのコマです。キャンプの様子は次号で報告します！

あつという間に選挙の時期になりました。10月16日(月)から代議員選出選挙の立候補の受付が始まります。前回は(前回は)北海道ブロック支部の代議員選挙は残念ながら定員割れとなりました。代議員の定数は正会員10名に1名の割合となっていて、代議員の数が多いほど学会本部からブロック支部への補助金の額も増える仕組みになっています。多くの方の立候補をお願いいたします。北海道ブロック支部での代議員や役員(支部長、副支部長、幹事)についての説明は2021年9月に発行したニュースレター30号に書きましたので、そちらをご参照ください。

なお、代議員の選挙のやり方は前回と同じですが、代議員が投票する理事の選挙は前回から変更があります。これまでは「全国区」と「北海道ブロック」で別々に選挙を行っていましたが、今回から1度の選挙で理事を選出することになりました。北海道ブロック選出理事が北海道ブロック支部長に就任する形でしたが、理事選挙の変更に合わせて支部長の選出の規約も変更しています。北海道ブロックから複数の理事が選出された場合は理事の互選で支部長を決定します。また理事全員が支部長になることを辞退した場合は代議員の互選で支部長を選出します。理事候補者への投票や、ブロック支部の幹事・監事への立候補は代議員のみとなっておりますのでご注意ください。



トピック③

第10回北海道プライマリ・ケアフォーラム詳細情報!



2023年11月18日(土)に第10回北海道プライマリ・ケアフォーラムならびに日本プライマリ・ケア連合学会北海道ブロック支部第8回学術集会(兼)第103回北海道医学大会プライマリ・ケア分科会が現地開催(「かでの2・7」)されます。新型コロナウイルス感染症の流行以降はオンラインでの開催を行っていましたが、今年は4年ぶりに現地開催を行うことが決まりました。職種・職歴を問わずプライマリ・ケアについて学びを深めることができる機会となっております。

基調講演では北海道において家庭医療の草分け的存在である楢戸健次郎先生にご登壇頂き「家庭医に未来はあるか?」というテーマでご講演頂きます。

〈開催概要〉

- 【日時】
2023年11月18日(土) 12:30～19:20
- 【対象】プライマリ・ケアに関わる医療者、医療系学生、初期研修医
- 【場所】北海道立道民活動センター(かでの2・7) 820 研修室・1040 会議室・1050 会議室・1070 会議室・1030 会議室
〒060-0002 北海道札幌市中央区北2条西7丁目(TEL 011-204-5100)
- 【参加費】無料
- 【申込み】10月初旬より開始
- 【主催】日本プライマリ・ケア連合学会北海道ブロック支部
- 【共催】同学会 学生研修医部会北海道支部
- 【懇親会会場】: ホテルポールスター札幌(会費:一般5,000円 学生3,000円)



その他のお知らせ

① ブロック支部内部組織及び活動状況について

現在、広報委員会、若手医師・学生支援委員会、薬剤師部会が各々活動&計画中です。引き続き情報があれば随時共有していきます。まだFacebookのご登録をされていない方々もぜひ登録を!

<https://www.facebook.com/Hokkaidoprimarycare/>

② 支部の予算について

コロナ禍で、事業をあまり行うことができなかつたことがあったため内部留保があります。幹事会での議論を経て、プライマリ・ケアの普及に予算を使う方向性としております。このため今年度の北海道地方会および北海道プライマリ・ケアフォーラムは無料としております。

北海道ブロック支部でやってみたい行事や活動などがありましたら、幹事会、幹事会などで議論しますので、ブロック支部事務局までご連絡ください!

北海道ブロック支部事務局 Email
hpca.jimukyoku@gmail.com